

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	認知症対応型共同生活介護施設として、認知症の理解を促進するための地域活動が不十分。	認知症への理解促進を目的に、地域に働きかける。	①認知症キャラバンメイトに相談し、苑で催しを行う。	12ヶ月
2	5	構造上死角が多く、施錠が仕方がない、見守らなくても無断外出はないと、職員の慢心、工夫のない介護になっていないか。	施錠部分を見直す。	①23. 10新しい事業拡大に伴い、施錠部分を見直す。解放できる部分を、安全確認しながら解放していく。 ②施錠に頼らず、介護で対応する。	3ヶ月
3	9	記録様式・アセスメント方法に、認知症の人のためのケアマネジメント、センター方式を導入したが、十分活用できていない。	本人・家族本位のケアプランにする。	①記録内容の充実を図るため、内部研修を行う。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。